

給湯器の設定温度が安定しない



極端に暑くなる時期と、極端に寒くなる時期に起こる「**サンドイッチ現象**」が原因で給湯器の設定温度が安定しないというお問い合わせをよく聞きます。

夏場など、外出先などから戻ってきて、シャワーなどを利用の際に設定温度よりも高温のお湯が出てくる場合があります。これは給水管内に滞留している水が外気温により極端に高い温度になっていたりすると、室内給湯リモコンで設定していた火力で作動させると、設定以上の高温になってしまうという現象です。

賃貸住宅の場合は給水管が公共道路から敷地内に1本の給水管により引き込まれ、それから各フロアに分配配管され、更にフロア内の居室に分配配管されています。この距離が長ければ長いほど、夏場などはその管内に溜まっている水の温度が高温になっていて、実際設定温度よりも高い温度の水が蛇口から出てきてしまう事があるという事です。

極端に暑くなる時期や極端に寒くなる時期などは、機器の異常ではなく、お湯を出しっぱなしにしていれば設定温度に戻りますので安心してください。

又、稀に新規でご入居された場合にある現象としては、ガス栓が半開状態で給湯器へガスの供給が正しく行われないことにより設定温度が安定しないことがありますので、もしも不安定な場合はガス栓を全開の状態になっているかも確認してみてください。

最後にもう一つ！ 給湯器では水流に勢いがないと燃焼が安定しないケースがあります。シングルレバー式の混合水栓などは水とお湯の割合が微妙に水寄りになっていると、お湯を沸かすセンサーが上手く作動せず水しか出ない等の減少もありますので、混合水栓のレバーを極端に熱い方若しくは冷たい方に合わせて、ガス給湯器がしっかりと作動していることを確認してみてください。